


平成 30 年度 第 3 回羽島中学校区学校運営協議会 議事録

1	日時	平成 31 年 2 月 21 日 (木) 午前 10 時 30 分～正午
2	場所	羽島中学校 図書室 (北舎 2 階)
3	出席者	<p>15 名 (全委員 24 名)</p> <p>足近校区 武山和明 (コミセン館長) 長島秀賢 (主任児童委員) 老田美智子 (主任児童委員) 田中彰俊 (地域コーディネーター)</p> <p>小熊校区 大橋利正 (コミセン館長) 神田智 (コミセン協議会長) 大橋達也 (主任児童委員) 柳川禎章 (地域コーディネーター)</p> <p>正木校区 味岡巖 (自治委員会) 豊島信征 (コミセン協議会長) 不破祥公 (主任児童委員) 豊島裕香 (主任児童委員)</p> <p>市教育委員会 島戸秀人 (指導主事) 浅野喜代子 (市 CS ディレクター)</p> <p>羽島中学校 長尾祐二 (PTA 会長) 森山健 (学校長) 山口真理子 (教頭) 水谷真由美 (総括生徒指導主事)</p> <hr/> <p>小学校長 西野美佳 (足近) 花村伸二 (小熊) 日置和宏 (正木)</p> <p>※4 校、組織作りを同歩調で進めていくため、今回は、羽島中学校区の教頭も参加</p>
4	議事	<p>【第 1 部 学校運営協議会構想について】</p> <p>①「羽島中学校区 学校運営協議会」構想について (学校長)</p> <p><目的> 地域の財産である地域教育力と小中学校教育との効果的な協働・連携を通して、9 カ年の義務教育を受ける子供たちの健全育成を目指し、地域とともにある学校づくりを目指す。</p> <p><基本> ・ 3 小学校区を中心とし、中学校区を 1 つのまとまりとする学園構想。 ・ 学園で大切にすることを各地域や各学校で共有し、活動にも反映させる。 ・ 各学校経営の特色 (独自性) は、尊重する。</p> <p><組織> 「学校運営協議会」(各学校)  コミュニティ・センター協議会 「学園連絡協議会」(4 校合同) 【地域学校協働本部】</p> <p><学園連絡協議会> ・ 各学校における活動実績の交流を行う。 ・ 活動の柱について考えたり、今後の方向を検討したりする。</p> <p>●構想について…承認</p> <p>②「学園連絡協議会」の立ち上げに関わって (会長)</p> <p>本来は、3 月に連絡協議会を開催し、次年度の方向を決めていくのだが、これから立ち上げていくため、今回に限り、この場で話題にした。</p> <p><活動の柱> 防災</p> <p><理由> 小中合同防災教育として、今年度、臨時避難場所や通学路における危険箇所の確認を行い、登下校時に地震が起きた際の避難について学ぶことができた。</p> <p>また、小学校では、地域の防災士さんに助言をいただきながら命を学ぶ訓練を行ったり、地域の防災訓練に参加したりすることで、防災に関する関心が高まってきているから、さらに活動を進めていきたい。</p> <p>●次年度、4 校が共通して取り組む内容…承認</p>

③まとめ（総括生徒指導）

- ①「羽島中学校区 学校運営協議会」構想
 - ②次年度、4校が共通して取り組む内容
- 以上2点について、決定したことを再度確認した。

第1部の会を閉じる。（各小学校の教頭先生…退室）

【第2部 羽島中学校学校運営協議会】

①開会のあいさつ（田中会長）

②今年度の活動報告

- ・校長：学校の教育活動について
- ・教頭：11/30 人事管理訪問より、保護者評価の結果について
- ・総括生徒指導：学校運営協議会 活動報告について

③次年度について

- ・校長：学校の教育活動
- ・総括生徒指導：小中一貫教育、学校運営協議会 活動計画について

④意見交流

- ・ネットトラブルの低年齢化に対応して、中学校だけでなく、小学校でもネットに関わる教育を勧めていってほしい。
- ・2020年度より、修学旅行先が広島に変更されるとのこと。平和に関する学びの多いところなので、当日だけでなく、事前・事後の学習も充実したものになるようにお願いしたい。
- ・1/25に行われたコミュニティ・スクール推進協議会の際に、「地域は何ができるか」「学校が困っていることは」という交流をした。困っていることなどをこの会で伝えてもらい、考えていけば、地域の子どもたちの成長につながると思う。
- ・米作り、読み聞かせ等、小学校へ行く機会は多いが、中学校は少ない。普段から人を寄せるような仕組みや気軽に足を運べるようになるシステムを考えていく必要がある。
- ・学校の教育活動についてなど、詳しい説明でよく分かった。もし、可能であれば、事前に資料を送付してもらえると、目を通して会に臨むことができる。
- ・次年度より本格的な活動になってくるからこそ、役員が集まれるような部屋があるとよい。
- ・学校運営協議会の一員であると証明できるものがあると、学校に来た際に、もしくは地域での活動の際に、地域や子どもたち、職員等に周知できるのではないか。

⑤その他

- ・次年度の学校運営協議会の組織に関わって（校長）
今年度と同様、以下の役職の方で組織を作っていく。
自治委員会長・コミュニティセンター館長・コミュニティセンター協議会長
青少年育成推進員・主任児童委員・地域コーディネーター・PTA会長

⑥教育委員会より

⑦閉会のあいさつ（柳川副会長）

